

成田の舞台裏

普段何げなく利用している施設やサービス。その裏側では、どのようなことが行われているのでしょうか。ここでは、普段は見るできない成田のさまざまな舞台裏を紹介します。

第13回 消防音楽隊

～防火・防災につなげるハーモニー～

消防出初式をはじめとする行事のほか、イオンモール成田などの商業施設での啓発イベントといった、さまざまな催しを華やかな音色で飾る消防音楽隊。今回は、この消防音楽隊の舞台裏を紹介します。

消防音楽隊は、火災・救急・救助現場の最前線で活躍している消防職員26人で構成されています。そのため、隊員は現場での対応のほか、訓練や機材の点検などの日常業務の傍ら、音楽活動を行っています。練習は月に4回。齋藤先生と渡部先生から2時間半の指導を受けます。定期的に演奏を披露する場があるので、その演奏を聴いた一人でも多くの人に、防火・防災に関心を持ってもらうきっかけとなることを目指して、日々の練習に励んでいます。

隊員のほとんどは音楽未経験者で、中には楽譜が読めなかった人も。楽器の演奏経験がある人でも、なじみのない楽器を担当することが多くあります。そのような中でも、一人一人が努力を積み重ねることで、息の合った演奏につなげることができています。また、ゼロからのスタートだからこそ成長を実感できる場面が度々あり、そこが楽しさややりがいになっています。

勇壮な演奏を通して防火・防災意識の啓発を図る消防音楽隊。その華やかな活躍の舞台裏には、火災・救急・救助といった厳しい現場の対応をしながらも、練習に励み続ける隊員の姿がありました。



①



②



③

- ① 普段の業務は厳しい目で
- ② 齋藤先生の指揮に合わせて
- ③ 消防出初式で練習の成果を披露

たくさんの人に届くように

成田消防署 のぐち ゆか 野口 由夏さん

入隊してからトランペットを始めて1年半になります。最近は周りの演奏をよく聴いて、ソロパートの音を引き立たせるための工夫ができるようになりました。演奏の技量はまだまだ未熟ですが、私たち消防職員がやることで「すごいな。頑張っているんだな」と思ってもらい、消防の活動を多くの人に知ってもらおうきっかけになっていれればいいです。



舞台裏の様子をYouTubeでも

右のQRコードから成田市公式YouTubeチャンネルにアクセスして、スマートフォンやタブレットなどから、取材の際に撮影した動画やスライドショーを見ることができます。



成田市公式
YouTubeチャンネル

編集後記

春は暖かく過ごしやすい季節ですが、花粉症の人にとってはつらい時期。私も春先からこの時期にかけて、毎年悩まされています。「今年こそは」と早めに病院を受診して薬を処方してもらいましたが、今年のは花粉は手ごわいようで、いつもの薬では歯が立たず。より強い薬を服用し、なんとか生活しています。花粉症対策で大切なことは花粉を体内に取り込まないこと。マスクの着用が個人の判断に任されてから1カ月が経過しましたが、私が手放せるのはまだ先になりそうです。

令和5年4月15日号 No.1481

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは簡デンスウェブの登録商標です

*本紙は4月7日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。



リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。